

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (四国)		-	-
		商店街（事務局長）	・円安株高が続き少しは景気が良くなると希望を持っているが、消費者は慎重さを増している。経済が底堅く安定すれば、停滞している富裕層の消費にも動きが出て、消費全体のけん引役になると期待している。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・なんとなく期待できそうな雰囲気を感じられる。
		コンビニ（店長）	・コンビニ業界は良いのではないか。
		衣料品専門店（経営者）	・寒くなるとアウターが動き、年末に向けて少しは良くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・11月に重衣料など比較的高価格帯のものが良く売れた。繁忙期の12月が予報どおり寒くなりさえすれば、そこそこいくのではないのかと期待している。
		衣料品専門店（総務担当）	・気温が低下し、単価の高い重衣料が動き始めている。このまま冬らしい気温で推移すれば、売上は増えると期待している。
		家電量販店（店員）	・ボーナス商戦と新生活需要で販売増が見込める。
		乗用車販売店（従業員）	・12月も新型車発売があるため、受注台数は前年を上回ると期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・年末から来年3月までの繁忙期に新型車発表が続くため、販売台数は期待できる。年度末に向け、良い決算となるよう努力する。
		乗用車販売店（役員）	・新型車発売と減税で、少し良くなる。
		住関連専門店（経営者）	・ゼロ金利が続き住宅着工が増えているため、家具や付属品等も売れると期待している。
		旅行代理店（営業部長）	・不安材料は沢山あるが、円安傾向で製造業（自動車関連・電機関連等々）に期待できる。アメリカの景気が良くなれば、との期待感もある。
		通信会社（営業担当）	・新しい冬モデル機種種の販売が開始され、例年通り冬商戦が活気づく。
		美容室（経営者）	・紹介客が増えてきている。
		商店街（代表者）	・なかなか寒くならず、バーゲン待ちで財布のひもは固い。1～2月の冬物商戦もあまり期待ができない。消費マインドが上向き要素は全く無い。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・年末にかけて動きはあると思うが、予約状況は鈍い。当日やバーゲンで購入するケースが多く、販売量が今後増えるとは考えにくい。
		百貨店（営業担当）	・悪くなってきている状況は、来月以降も変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	・主力である衣料品の売上回復が見えてこない。
		スーパー（店長）	・販売促進活動をしてなんとか前年並みを維持している。3か月後に期待が持てるような状況ではない。
		スーパー（企画担当）	・冬物野菜が総じて高騰している状況は変わらない。売上が回復に向かうのは、もう少し先になる。
		スーパー（財務担当）	・円安株高傾向となっているが、消費マインドの改善は見えず、節約志向が続く。
		コンビニ（商品担当）	・冬のボーナス支給で良くなってほしいという願望はあるが、ボーナスが増えても食に回ってくるのは最後のほうかなと思う。
		コンビニ（総務）	・景気が良くなる要素が見当たらない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車が発売されたものの、お客様の反応は今一つ。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車効果で12月以降に持ち越しの受注残もあって、大きく落ち込むことはない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・依然として財布のひもは固い。
	観光型旅館（経営者）	・来年の愛媛国体に期待している。地元松山の地域活性化を進めるには、全国を知る必要がある。	
	都市型ホテル（経営者）	・うるう年の今年は「逆打ち」する遍路客が非常に多く、宿泊部門は良い。しかし、来年の予約状況は芳しくなく、レストランやバンケット部門も良くなる要素がない。	
	タクシー運転手	・今年は大型客船の入港が多かったのに、タクシー利用は少なかった。1～2月も変わらない。	
	通信会社（支店長）	・大きな変化をもたらす要因は見当たらない。	
	通信会社（企画）	・季節要因により若干上向きになると思うが、景気が良くなるとは言えない。	

	通信会社（営業部長）	・新商品効果が一巡し、まだ新生活需要期には入っていないため。
	観光遊園地（職員）	・閑散期に入る。
	競艇場（職員）	・例年、12～1月は大きなレース（場外）が開催され、特に今年は地元選手が複数出場することもあり、活躍次第では売上増が期待できる。
	設計事務所（所長）	・人手不足が原因で失速する可能性もある。
	一般小売店〔乾物〕（店員）	・良くなるイメージが浮かばない。来春に大型ショッピングモールが出店予定なので厳しくなる。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・年末年始を過ぎると、少し売上は落ちる。
	一般レストラン（経営者）	・商品があふれ、安売り合戦の様相を呈しており、輸入価格も上昇しつつある。可処分所得が増えないと、個人消費の動きが無くなる。
	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・例年2月頃から厳しくなる。
	ゴルフ場（従業員）	・予約状況が弱く、平日と同じように週末も弱い。
	商店街（代表者）	・街づくり三法、中心市街地活性化法が全く空論になってきた。今後さらに大きな変革が起きると予想され、先が読めない。
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・忘年会や新年会を盛大に行うことのない現状では、街が潤うはずがない。地方は本当に景気が悪い。
	コンビニ（店長）	・年賀状の販売も振るわず、年末商戦を控える今でさえ物販の不振を感じており、かなり心配している。
	タクシー運転手	・冬はお遍路の仕事がほとんど無くなり、売上は大きく落ちる。
企業 動向 関連	-	-
(四国)	食料品製造業（商品統括）	・食品業界としては円安による原料高は進みつつあるが、直近の円安局面における整理と統合による効果が見込める。
	鉄鋼業（総務部長）	・希望的観測。
	通信業（営業担当）	・とりわけ自動車、情報通信、住宅設備などの業種の広告出稿意欲が高まっていると感じる。
	不動産業（経営者）	・物件探しの問い合わせ等が多くなっているが、それに見合う土地、建物が非常に少ない。
	農林水産業（職員）	・変わる要素が見当たらない。
	木材木製品製造業	・住宅業界では11～2月がピーク月なので、期待している。
	電気機械器具製造業（経営者）	・主力の再生エネルギーがだんだん難しくなっている。バイオマス事業は許認可等々が取得できる段階になった。その他の機械も、構想図が出来上がる段階に入っている。これがビジネスの実現につながり、景気はだんだん回復してくる。
	建設業（経理担当）	・工事は増えるだろうが、利益は見込めない。
	建設業（経営者）	・公共工事が受注できるか否かにかかっている。
	建設業（経営者）	・公共事業の国発注量は減少、県発注量は増加し、全体では2年連続の減少になった。補正予算も期待出来ず、場合によっては悪くなる恐れもある。
	輸送業（経営者）	・気になるほどではない。
	輸送業（営業）	・年末年始の繁忙期と、1～2月の閑散期とは取扱物量の落差が非常に大きい。取扱物量が増え続けることは期待薄で、先行きは極めて厳しい。運送需要が集中する12月は車両不足が一段と深刻化し、荷主の商流に影響が及び、運賃の高騰を招く。
	金融業（副支店長）	・取引先企業に今後の受注動向や業績見込みをヒアリングすると、慎重な見方をする経営者が大半であったが、明らかな悪化を予想する企業も少なかった。当今の景況感が続く。
	広告代理店（経営者）	・依然として、既存得意先の販促広告予算は削減傾向にある。
	公認会計士	・まだ設備投資に消極的な経営者が多く、景気が回復しているとは言えない。良い業種と悪い業種があり、歯切れの悪い回答が多かった。
	繊維工業（経営者）	・地方の中小企業、小売店には資金、消費者が集まっていない状況にある。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・12月は良いペースで伸びると思うが、1～2月は例年通りダウンを予想している。
	電気機械器具製造業（経理）	・得意先からの受注量ならびに受注予測は、減少傾向を見込んでいる。また収益面でも、出荷製品の構成次第で悪化することもある。
	食料品製造業（経営者）	・円安や原油減産の影響から、海外から仕入れる原料高騰、資材高騰が予測される。

	x	一般機械器具製造業 (経理担当)	・国内需要はおおむね堅調に推移するが、海外需要は新興国経済の減速や原油・資源価格の低迷により減少するとみている。
	x	輸送業 (支店長)	・O P E Cの減産合意と円安による燃油費高騰が懸念される。受注量と受注価格が変わらない中、コスト増による経営圧迫が必須か。
雇用 関連		-	-
(四国)		人材派遣会社 (営業担当)	・雇用拡大により、労働市場が活況を呈する。
		人材派遣会社 (営業)	・最低賃金の引上げにより、労働者は賃金のベースアップなどが期待できる。年末年始にかけて消費意欲が高まり、景気が少しは良くなる。
		求人情報誌製作会社 (従業員)	・人材不足は依然続いており、年明け後は異動時期に対し、早めの求人活動が予想される。
		職業安定所 (職員)	・有効求人倍率は5月以降上昇傾向にあり、10月の求職者数も前年比11.5%減少していることから、これからは良くなる。
		求人情報誌 (営業)	・中小企業における採用難の打開策が見い出せない。慢性的な人員不足が続き、景気は大きく変わらない。
		民間職業紹介機関 (所長)	・工業系の高校、大学からの新卒者が採用出来ない企業が多い。中途採用を含め、今後も根気強く採用活動を行うという企業が多い。
		学校 [大学] (就職担当)	・次年度の就職活動は、例年より活発化しているように感じられるが、景気とは関係ない。
		人材派遣会社 (営業担当)	・正規採用の求人が増え、派遣に登録する人あるいは派遣から就労する人が減ることが懸念される。
		x	-